

-2017年度カリキュラム-

アジア太平洋学部の卒業要件・履修条件について

-APS-

日本語基準

1

卒業に必要な単位の確認方法

- 卒業には124単位以上が必要ですが、124単位の詳細は各個人によって異なります。自身が修得すべき単位数をCampusmateで確認しましょう。

2

APS：卒業要件

- 卒業要件の一覧
- 卒業要件3: 必修言語科目の単位をすべて修得していること
- 卒業要件4: 各科目分野の必要単位数を修得していること
- 卒業要件5: 英語開講科目（反対言語）を20単位以上修得していること
- 卒業要件6: 4つの学修分野のうち、いずれかひとつの分野を登録していること
- 卒業要件7: 自身が登録した学修分野の必修科目（共通教養科目）を2単位以上修得していること
- 卒業要件8: 自身が登録した学修分野の専門教育科目を28単位以上修得していること
- 科目分野の確認方法について

3

APSの専門教育科目

- APSの学生には、履修推奨科目として「コア科目」が定められています。

4

APSの履修条件

- 一部科目には、APSの学生が履修・登録できない期間があります。

APSの卒業要件

- 卒業するためには、以下の全てを満たす必要があります。

No.	要件
1	少なくとも4年間在学していること
2	合計124単位以上修得していること
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）
4	各科目分野の必要単位数を修得していること
5	英語開講科目を20単位以上修得していること（日本語基準国内学生のみ適用）
6	4つの学修分野のうち、何れかひとつの分野を登録していること
7	自身が登録した学修分野の必修科目（共通教養科目）を2単位以上修得していること
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を28単位以上修得していること

卒業要件3: 必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）

▶ 日本語基準学生は、英語科目が必修！

- 入学時のプレイスメントテストによって、**開始レベルと履修トラックが決定**されます。
- A・B両方の科目の単位を修得すると次のレベルに進むことができます。（例：Aが合格でBが不合格の場合、次はBのみ登録される）
- 必修科目の単位を修得し終えるまで自動的に大学がクラスを指定します。

履修トラック	開始レベル	必要単位	スタンダードトラック 必修英語				アドバンスドトラック 必修英語	
			初級A	準中級A	中級A	準上級A	上級1A	上級2A
			初級B	準中級B	中級B	準上級B	上級1B	上級2B
スタンダードトラック	初級	24	必修	必修	必修	必修	(選択)	(選択)
	準中級	18	免除	必修	必修	必修	(選択)	(選択)
	中級	12	免除	免除	必修	必修	(選択)	(選択)
	準上級	6	免除	免除	免除	必修	(選択)	(選択)
アドバンスドトラック	上級1	12	受講不可				必修	必修
	上級2	6					免除	必修
	免除	0					免除	免除

卒業要件3: 必修言語科目の単位をすべて修得していること（もしくは履修免除されていること）

- 自身が修得すべき必修言語科目の単位数はCampusmateで確認できます。

【手順】 Campusmate ≫ 教務メニュー「履修登録」 ≫ 右上「◎参照」

- 赤枠内に自身が修得すべき言語科目（英語または日本語）の単位数が表示されます。

campusmate

ログインユーザ名：

履修登録確認 ガイダンス

履修登録確認表

集計分野	必要単位	履修免除 (-)	履修免除 (+)	各個人の必要単位	履修中の反対言語単位	反対言語の修得単位	修得単位	登録単位	合計単位
英語	24	-6		18			12		12
HT必修共通教養科目	2			2			2		2
共通教養科目	14			14			12	2	14
言語教育科目および共通教養科目			+6	6			8	4	12
HT専門教育科目	28			28					
APS専門教育科目	34			34			2		2
他学部科目									
合計	124			124			36	6	42
要卒集計外科目									

英語の履修免除分6単位

卒業要件4: 各科目分野の必要単位数を修得していること

科目分野		必要単位数	合計	
計 102単位				
共通教育科目	英語科目	24	124単位以上	
	学修分野必修共通教養科目	2		
	共通教養科目	14		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
APS 専門教育科目	学修分野専門教育科目	28		
	APS専門教育科目	34		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

- 卒業するためには124単位が必要ですが、各分野の必要単位数の合計は102単位です。
- 不足分の22単位については、科目分野は決められていません。興味のある分野から修得してください。

124単位 – 102単位 = 22単位
残り22単位の科目分野は問わない



- 英語の開始レベルによって、「英語科目」と「言語教育科目および共通教養科目」の必要単位数が少しずつ異なりますが、定められている各分野の必要単位数102単位は、どの学生も一緒です。

卒業要件5: 英語開講科目（反対言語）を20単位以上修得していること

日本語基準国内学生のみ卒業要件

英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目(自学部および他学部科目)を20単位以上修得することが卒業要件の1つ

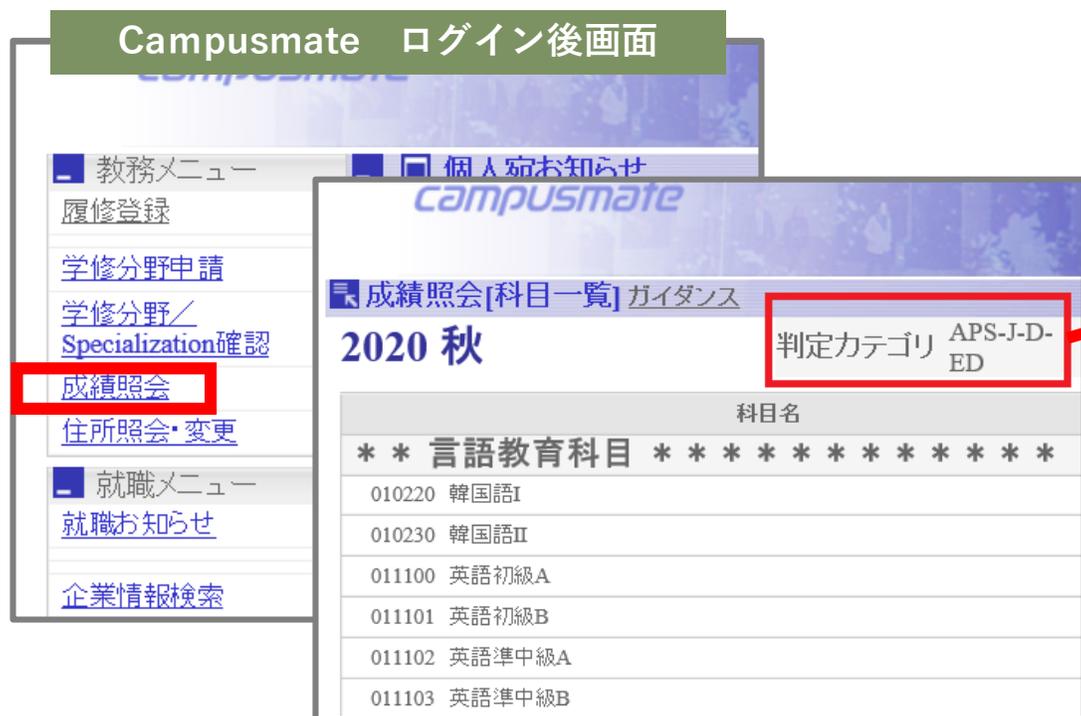
トラック	英語開講科目の受講条件
スタンダードトラック (JST)	「英語中級A・B」が単位修得済み、もしくは、履修免除されていること。
アドバンストトラック (JAT)	特別な条件なく、第1 Semester から英語開講科目の登録が可能。

- 言語教育科目言語教育科目（英語科目やAP言語）や両言語開講科目（E/J）は、英語開講科目として認められません。
- 日本語基準国際学生は、この要件を満たす必要はありません。**

卒業要件5: 英語開講科目（反対言語）を20単位以上修得していること

▶ 英語開講科目の必要有無確認方法

- 英語開講科目（反対言語）20単位以上の修得は、「日本語基準国内学生（判定カテゴリ: J-D の表示）」の卒業要件です。
- 自身が対象かどうかは、Campusmate で確認をしてください。
- 入学後に区分（国内/国際）の変更があった場合でも、判定カテゴリ自体が変更されることはありません。



例)

学部	言語基準	国内・国際	学修分野※
APS-	J-	D-	ED
アジア太平洋学部	日本語基準	国内学生	環境・開発

※学修分野を登録すると表示される

上記以外の凡例)

言語基準	英語基準	E-
国内・国際	国際学生	I-
学修分野	観光学	HT
	国際関係	IRP
	文化・社会・メディア	CSM

卒業要件6: 4つの学修分野のうち、いずれかひとつの分野を登録していること

▶ 学修分野の登録

学修分野から自分の希望する分野を1つ登録する必要があります。

環境・開発 (ED)	観光学 (HT)	国際関係 (IRP)	文化・社会・メディア (CSM)
---------------	-------------	---------------	---------------------

▶ 学修分野の登録・変更可能期間

履修科目登録期間	第2セメスターから第6セメスター
登録・変更可能時期	履修科目登録期間 A、B、修正1、修正2

- 変更可能期間中であれば、何度でも学修分野を変更できますが、早期に学修分野を決定し、計画的に科目を修得していくことを推奨します。

卒業要件6: 4つの学修分野のうち、いずれかひとつの分野を登録していること

▶ 学修分野の登録・変更方法 ～Campusmate～

詳細の使用マニュアルはコチラ 



campusmate

学修分野申請 ガイダンス

選択 学修分野 / Specialization 申請状況

環境・開発

観光学

国際関係

文化・社会・メディア

申請したい学修分野を選択してください。

メニューへ戻る

申請

手順：
① campusmateの「学修分野申請」
② 申請したい学修分野にチェック
③ 右下の申請ボタンを押す
※学修分野の変更時も同様です

卒業要件6: 4つの学修分野のうち、いずれかひとつの分野を登録していること

- Campusmateの履修登録確認表は、学修分野登録の前と後で表示が異なります。

学修分野選択前

集計分野	必要単位	履修免除(-)	履修免除(+)	各個人の必要単位	履修中の反対言語単位	反対言語の修得単位	修得単位
日本語	16			16			16
共通教養科目	16			16			6
言語教育科目および共通教養科目	8			8			
APS専門教育科目	62			62			2
他学部科目							
合計	124			124			24
要卒集計外科目							

学修分野選択後

分野系列名	必要単位	履修免除(-)	履修免除(+)	各個人の必要単位	反対言語の修得単位	修得単位
英語	24	-6		18		12
HT必修共通教養科目	2			2		
共通教養科目	14			14		
言語教育科目および共通教養科目			+6	6		
HT専門教育科目	28			28		
APS専門教育科目	34			34		
他学部科目						
合計	124			124		36
要卒集計外科目						

あなたの卒業に必要な単位です

APS専門教育科目（62単位）が、2つの分野に分かれます。

- 学修分野専門教育科目 28単位
- APS専門教育科目 34単位

卒業要件 7 :

自身が登録した学修分野の必修科目（共通教養科目）を2単位以上修得していること

学修分野	学修分野必修科目（共通教養科目）	
学修分野から1つ登録	登録した学修分野の必修科目（共通教養科目） 2単位以上修得	単位
環境・開発	環境学入門	2単位
	開発学入門	
観光学	観光学入門	
国際関係	国際関係論入門	
文化・社会・メディア	文化・社会学入門	
	メディア入門	

- 卒業までに、登録した学修分野の必修科目を2単位以上修得する必要があります。
- 「環境・開発」と「文化・社会・メディア」は、必修科目が2つ設けられていますが、2科目のうち最低1科目を履修し、単位修得すればよいです。
- 選択した学修分野以外の入門科目を履修することも可能です。

卒業要件 8 : 自身が登録した学修分野の専門教育科目を28単位以上修得していること

英語初級 始まり		科目分野	必要単位数	合計
共通 教育 科目	英語科目	24	124単位 以上	
	学修分野必修共通教養科目	2		
	共通教養科目	14		
	言語教育科目および 共通教養科目	0		
APS 専門 教育 科目	学修分野専門教育科目	28	超過分	
	APS専門教育科目	34		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

- 卒業までに、登録した学修分野に配置された科目を28単位以上修得する必要があります。
- 「学修分野専門教育科目」分野の修得単位数が28単位を超えた場合、超過分は「APS専門教育科目」分野に集計されます。
- 各学修分野に配置されている科目は、以下の何れかで確認してください。
 - [①2017年度カリキュラム図](#)
 - [②2017年度カリキュラム科目一覧](#)
 - [③授業時間割](#)

卒業要件 8 : 自身が登録した学修分野の専門教育科目を28単位以上修得していること

2.2.13 2017年度カリキュラム図

<2017年度カリキュラム図 APS>

100 (1回生)				200 (2回生)				300 (3回生)				400 (4回生)			
英語	スタンダードトラック	英語初級A 英語初級B 英語中級A 英語中級B	4 4 4 2	英語中級A 英語中級B 英語上級A 英語上級B 英語上級2	4 4 4 2 2	英語ビジネスライティング 英語ビジネスプレゼンテーション 英語ディスカッションとディベート 英語プロジェクト1 英語プロジェクト2	2 2 2 2 2	ジャーナリズムのための英語	2						
英語	アドバンスドトラック	英語上級1A 英語上級1B 英語上級2A	4 2 4	英語上級1 英語上級2 英語上級3	2 2 2	メディアのなかの英語	2								

「環境・開発 (ED)」の学修分野を登録した場合…
同じ分野の専門教育科目の中から28単位以上の単位修得が必要です

100 (1回生)				200 (2回生)				300 (3回生)				400 (4回生)					
共通 教育 科目	APU リテラシー	スタディスキルアカデミックライティング 多文化価値ワークショップ 平和・ヒューマニティ・民主主義 異文化間コミュニケーション入門	2 2 2 2	異文化フィールドワークI 異文化フィールドワークII 多文化比較論 ピアラーダートレーニング入門	2 2 2 2	ピアラーダートレーニングI 海外学習デザイン APSブリッジプログラム	2 2 2	ピアラーダートレーニングII A ピアラーダートレーニングII B	2 2								
	世界市民基盤	アジア太平洋学系	アジア太平洋の言語 アジア太平洋の宗教	2 2	アジア太平洋の地理 アジア太平洋の文化と社会	2 2	アジア太平洋の歴史 アジア太平洋の経済	2 2									
		日本学系	日本の地理 日本の文化と社会	2 2	日本の歴史 日本の経済	2 2	日本国憲法 特殊講義 (日本学)	2 2	通 通	2 2	日本の伝統芸能	2					
		基礎系	法学 文化・社会学入門 ● (CSM) メディア入門 ● (CSM) 国際関係論入門 ● (IRP)	2 2 2 2	心理学 政治学入門 観光学入門 ● (HT) 経済学入門 ● (ED)	2 2 2 2	生命倫理 観光学入門 ● (HT) 経済学入門 ● (ED)	2 2 2	環境科学 ウェルネス	2 2							
	社会ニーズ	基礎スキル系	統計学 ネットコミュニケーションスキル	2 2	キャリア・デザインI キャリア・デザインII	2 2	特殊講義 (共通教育科目)	2	キャリア・デザインIII キャリア・デザインIV	2 2	キャリア・デザインIII キャリア・デザインIV	2 2					
		ICT系	インターネット入門 コンピューターリテラシー	2 2	プログラミング 特殊講義 (共通教育科目)	2 2	インターネット技術統合 S入門	2 2	インターネット技術統合 特殊講義 (ICT)	2 2							
	APS 専門 教育 科目	環境・開発 (ED)			多様性 環境問題 人と社会 環境と開発 コ・ツーリズム論 ユニティ・ベース・ツーリズム 演習 (環境・開発)	2 2 2 2 2 2 2	開発社会学・人類学 国際協力論 開発政治論 紛争と開発 環境・開発 フィールド・スタディ	2 2 2 2 2	産業社会学 環境モデリング GISとリモートセンシング 資源マネジメント 環境コミュニケーション 環境経済学 環境政策 特殊講義	2 2 2 2 2 2 2 2	開発経済学 コミュニティ開発論 開発プロジェクト・マネジメント 国際経済学 国際機構論 NPO/NGO研究 環境・開発 特殊講義	2 2 2 2 2 2 2					
			観光学 (HT)		観光社会学 行産業論 産観光論 観光文化論と観光史 コ・ツーリズム論 化人類学 感習 (観光学)	2 2 2 2 2 2	観光社会学・人類学 ホスピタリティ・マーケティング ホスピタリティ・マネジメント イベントマネジメント 観光学 フィールド・スタディ	2 2 2 2 2	観光社会学 ホスピタリティ・マーケティング ホスピタリティ・マネジメント 観光・ホスピタリティと法 健康とウェルネスツーリズム 観光とソーシャルメディア 観光地マーケティングとマネジメント	2 2 2 2 2 2 2	観光社会学 観光開発と計画 リゾート開発 開発プロジェクト・マネジメント オペレーションズ・リサーチ 組織行動論(上級) 人材マネジメント(上級) 観光学 特殊講義	2 2 2 2 2 2 2					
			国際関係 (IRP)		国際関係論 国際協力論 権論 治理論 外交論 アジア太平洋の比較政治経済 国際政治史 感習 (国際関係)	2 2 2 2 2 2 2	国際法 国際関係と政策 紛争と開発 平和学 グローバリ化と地域主義 国際関係 フィールド・スタディ	2 2 2 2 2 2	アジア太平洋における国際関係 国際機構論 開発政策 アジア太平洋地域システム論 国際政治経済学 アイデンティティと政治 国際関係 フィールド・スタディ メディアと政治 エスニシティと国民国家	2 2 2 2 2 2 2 2 2	冷戦後の紛争と地政学 グローバルメディアと紛争 暴力とテロリズム グローバリゼーションと規範 国際紛争解決 日本の対外関係史 日本の外交政策 戦略分析と意思決定 国際関係 特殊講義	2 2 2 2 2 2 2 2 2					
			文化・社会・メディア (CSM)		社会学 心理学 社会学 社会学 化人類学 グローバル・ヒストリー ローバル化と地域主義 感習 (文化・社会・メディア)	2 2 2 2 2 2 2	カルチュラルスタディーズ メディアと文化 メディアと法 ニューメディアと社会 人文学と近代 言語と社会 文化・社会・メディア フィールド・スタディ	2 2 2 2 2 2 2	多文化社会論 組織社会学 教育と社会 エスニシティと国民国家 メディアと歴史 メディアと政治 グローバルメディアと紛争	2 2 2 2 2 2 2	多文化社会論 宗教と信仰 アイデンティティと政治 グローバリゼーションと規範 日本の対外関係史 NPO/NGO研究 文化・社会・メディア 特殊講義	2 2 2 2 2 2 2					
APS共通A (*1)								APSフィールド・スタディ	2	プロジェクト研究	2						
APS共通B (*2)								環境研究	2	環境研究	2						
演習 (*2)								演習入門	2	演習I	2	演習II	2				

卒業要件 8 : 自身が登録した学修分野の専門教育科目を28単位以上修得していること

- 「APS共通B」「演習科目」に配置されている科目の単位は、4つ全ての学修分野に集計されます。

コア科目 (*1)	APS入門	2	地域研究入門	2					
APS 専門教育科目	環境・開発 (ED)				生物多様性 2	開発社会学・人類学 2	産業生態学 2	開発経済学 2	
	観光学 (HT)				地球環境問題 2	国際協力論 2	環境モデリング 2	コミュニティ開発論 2	
	国際関係 (IRP)				環境と社会 2	開発政治論 2	GISとリモートセンシング 2	開発のプロジェクト・マネジメント 2	
	文化・社会・メディア (CSM)				都市環境と開発 2	紛争と開発 2	資源マネジメント 2	国際経済学 2	
					エコ・ツーリズム論 2	環境・開発 フィールド・スタディ 2	環境コミュニケーション 2	国際機構論 2	
					コミュニティ・ベース・ツーリズム 2		環境経済学 2	NPO/NGO研究 2	
					基礎演習 (環境・開発) 2		環境政策 2	環境・開発 特殊講義 2	
							開発政策 2		
					観光社会学 2	コミュニティ・ベース・ツーリズム 2	観光経済学 2	観光開発と計画 2	
					旅行産業論 2	ホスピタリティ・マーケティング 2	MICE産業論 2	リゾート開発 2	
					遺産観光論 2	ホスピタリティ・マネジメント 2	農業遺産とツーリズム 2	開発のプロジェクト・マネジメント 2	
					観光文化論と観光史 2	イベントマネジメント 2	観光・ホスピタリティと法 2	オペレーションズ・リサーチ 2	
					エコ・ツーリズム論 2	観光学 フィールド・スタディ 2	健康とウェルネスツーリズム 2	組織行動論(上級) 2	
					文化人類学 2		観光とソーシャルメディア 2	人材マネジメント(上級) 2	
					基礎演習 (観光学) 2		観光地マーケティングとマネジメント 2	観光学 特殊講義 2	
					国際関係理論 2	国際法 2	アジア太平洋における国際関係 2	冷戦後の紛争と地政学 2	
					国際協力論 2	国際問題と政策 2	国際機構論 2	グローバルメディアと紛争 2	
					人権論 2	紛争と開発 2	開発政策 2	暴力とテロリズム 2	
					政治理論 2	平和論 2	アジア太平洋地域システム論 2	グローバル化と規範 2	
					開発政治論 2	グローバル化と地域主義 2	国際政治経済学 2	国際紛争解決 2	
					アジア太平洋の比較政治経済 2	国際関係 フィールド・スタディ 2	アイデンティティと政治 2	日本の対外関係史 2	
					国際政治史 2		メディアと政治 2	日本の外交政策 2	
					基礎演習 (国際関係) 2		エスニシティと国民国家 2	戦略分析と意思決定 2	
							国際関係 特殊講義 2	国際関係 特殊講義 2	
					社会理論 2	カルチュラルスタディーズ 2	多文化社会論 2	ジェンダー研究 2	
					社会心理学 2	メディアと文化 2	組織社会学 2	宗教と信仰 2	
					社会階層論 2	メディアと法 2	教育と社会 2	アイデンティティと政治 2	
					国際社会学 2	ニューメディアと社会 2	エスニシティと国民国家 2	グローバル化と規範 2	
					文化人類学 2	人文学と近代 2	メディアと歴史 2	日本の対外関係史 2	
					グローバル・ヒストリー 2	言語と社会 2	メディアと政治 2	NPO/NGO研究 2	
					グローバル化と地域主義 2	文化・社会・メディア フィールド・スタディ 2	グローバルメディアと紛争 2	文化・社会・メディア 特殊講義 2	
					基礎演習 (文化・社会・メディア) 2				
					特殊講義 (専門教育科目) 2	APS フィールド・スタディ 2			
APS共通A (*1)					地域研究 2		プロジェクト研究 2		
APS共通B (*2)									
演習 (*2)					調査研究入門 2		専門演習 I 2	専門演習 II 2	卒業研究 I 2 卒業研究 II 4

- 履修したい科目（授業）が、卒業要件のどの科目分野に配置されているかは、以下の何れかで確認してください。

2017年度カリキュラム図（APS）



2017年度カリキュラム科目一覧



授業時間割



APSの専門教育科目について

APS専門教育科目

▶ 専門教育科目とは？

APSの目的と理念を理解し、専門的な知識・技能を身に付け、興味・関心をより深めていく科目。

▶ コア科目

- APSの理念と目的を知ることができる科目。
- 1回生の間に両方の科目を修得することを強く推奨。
- どちらも卒業に必要な必修科目ではありません。
- 「地域研究入門」を履修したい場合は、学生自身で登録する必要があります。

科目名	APS入門	地域研究入門
科目分野	APS専門教育科目	
登録方法	大学が登録 (取消不可)	学生が登録
大学による登録時期	春semester	

APSの履修条件一覧

APS 履修条件一覧

- 履修条件がある場合、Campusmateには表示されません。登録可能な期間になると表示されます。

科目名	履修条件
セッション科目	卒業予定日を含む最終セメスターで、修得単位数が100単位以上の学生は履修不可
開発学入門	1セメスターから履修可能
環境学入門	
観光学入門	
国際関係論入門	
文化・社会学入門	
メディア入門	2回生（3・4セメスター）のみ履修可能
調査研究入門	
基礎演習（文化・社会・メディア）	
基礎演習（国際関係）	
基礎演習（環境・開発）	
基礎演習（観光学）	A期間：2回生（3・4セメスター）のみ登録可能 B期間：定員に空きがあれば3回生（5・6セメスター）以上も登録可能

APS 履修条件一覧

- 履修条件がある場合、Campusmateには表示されません。登録可能な期間になると表示されます。

	履修条件
「経済学入門」	2セメスター以降履修可能 (A期間は登録不可)
「統計学」	
「経営学入門」	2回生 (3セメスター) から履修可能 (A期間は登録不可)
「会計学Ⅰ」	
「マーケティング入門」	
「金融論」	
「人材と組織のマネジメント」	
「生産管理論」	
「ビジネス法務戦略」	3回生 (5セメスター) から履修可能 (A期間は登録不可)
「ビジネスエシックス」	
「グローバルマネジメント」	受講不可
「基礎数学」	2回生 (3セメスター) から履修可能 (A期間は登録不可)
「上級数学」	